

鎌倉市の維持向上すべき歴史的風致

日本で初めて本格的な武家政権が誕生した鎌倉には、源頼朝によって幕府が開かれた後、盛んに建立された社寺をはじめ、山稜部の土木遺構、保養地の別荘として近代に建てられた和風・洋風の建築物など、時代の流れを反映した貴重な歴史的遺産が数多く残り、また、緑豊かな丘陵と雄大な相模湾を臨む美しい海岸線とが近接することにより、美しい自然を身近に感じることができる。「歴史的環境」と「自然的環境」とが調和する鎌倉において、社寺は「生きている歴史的遺産」として宗教活動を営み、地域の伝統的な行事・生業、人々の周遊観光、緑を守る市民の取組なども相まって、固有の歴史的風致を形成している。

① 社寺における祭礼・行事にみる歴史的風致

鎌倉幕府を中心に建立された社寺は、現在も宗教活動を継続している「生きている歴史的遺産」であり、社寺の存在自体が鎌倉の歴史・文化の源泉であると同時に、他の歴史的風致の形成基盤となっている。



鶴岡八幡宮 ▶

③ 若宮大路周辺における商いにみる歴史的風致

近世以降、信仰の対象であった社寺は遊山の対象ともなったことから、若宮大路は多くの来訪者で賑わうようになり、この地で観光客を対象とした商いが続いている。



若宮大路 ▶

② 海にまつわる伝統行事にみる歴史的風致

日本最古の港跡「和賀江嶋」が位置する材木座をはじめとする地域では、江戸時代頃から現在に至るまで、海にまつわる生業や伝統行事が営まれている。



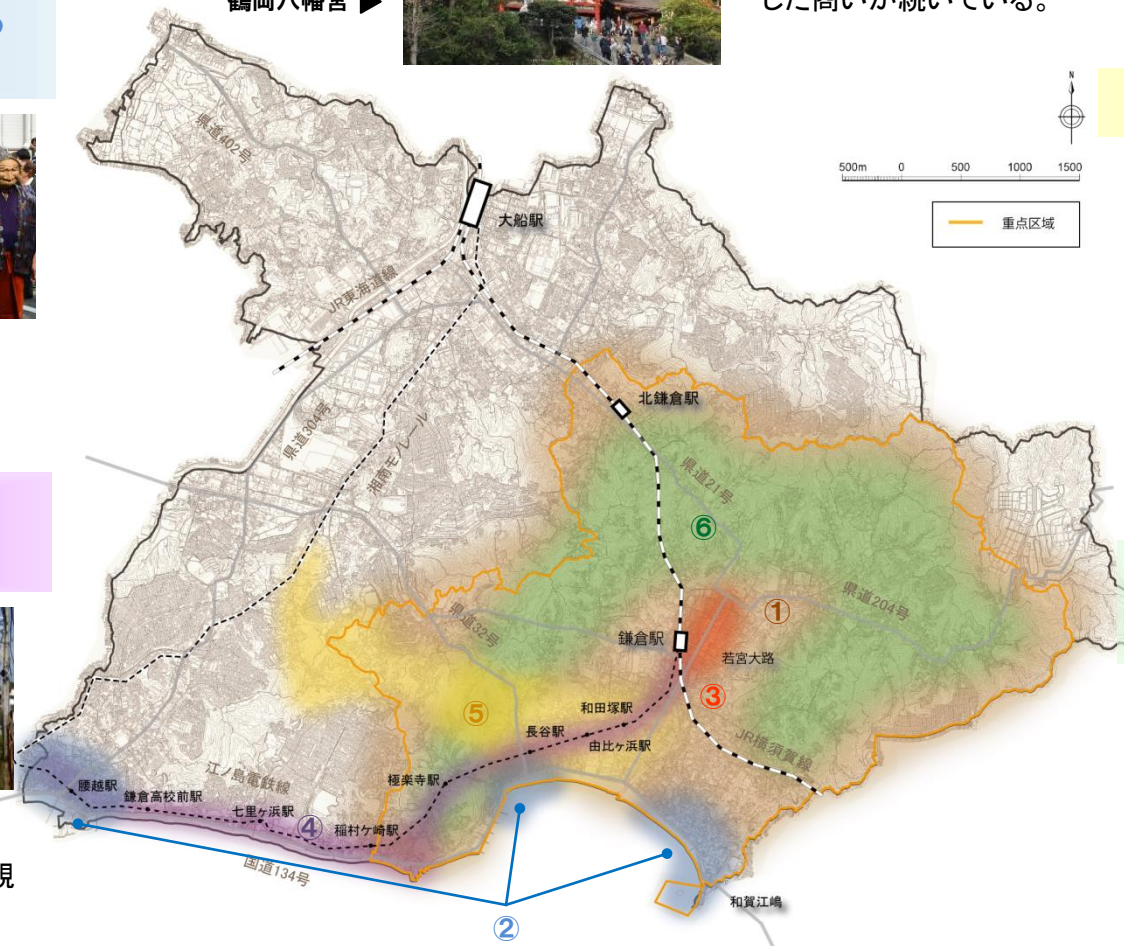
▲面掛行列

④ 周遊観光にはじまる「江ノ電」にみる歴史的風致

近世の周遊観光の歴史を受け継ぐ江ノ電が、社寺、谷戸の緑、海岸線などを横目に走る姿は、鎌倉を代表する景観として地域に根付き、人々に親しまれている。



▲江ノ電



⑤ 別荘文化に由来する歴史的風致

この地に別荘を構えた人々の価値観は、習慣、生業、芸術等に影響を与え、地域固有の自然的・歴史的背景や人的・物的交流等を通じて洗練され、現代の鎌倉に住まう人々の趣向等にもその諸相が見られる。



▲鎌倉文学館 (旧前田家別邸)

⑥ 歴史的遺産と一体となった山稜の保全活動にみる歴史的風致

歴史的遺産は自然環境と一体を成して歴史的風土を形成しており、多くの人々が緑地の保全に携わることでそれが保たれている。



▲鎌倉風致保存会の活動